

第6学年〇組 道徳学習指導案

平成29年〇月〇日 (〇)

授業者 教諭 渡辺 真

1 主題名 人間の力をこえたもの 内容項目【D 感動, 畏敬の念】

2 ねらい 了海に対する実之助の心の変容を考える活動を通して、美しいものや気高いものに感動する心や人間の力をこえたものに対する畏敬の念をもとうとする。

教材名 「青の洞門」 (出典 みんなのどうとく 埼玉県版 学研)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

小学校5学年及び6学年の指導の観点は、「美しいものや気高いものに感動する心や人間の力をこえたものに対する畏敬の念をもつこと」である。この観点は、第1学年及び第2学年の「美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと」、第3学年及び第4学年の「美しいものや気高いものに感動する心をもつこと」を受けて設定されている。

「畏敬の念」とは、「畏れ(おそれ)で敬う心情のこと」とされており、それは、雄大な自然や美しい景色、人が創り出した素晴らしい作品などに出会った時に抱く。その他にも人の心の優しさや温かさなど気高いものや崇高なものに出会ったときに抱く尊敬する感情にも似ている。本時では、その中でも一つのことに直向きに打ち込む姿、それが他者のためになされたことに対する素晴らしさ、人として達成することが難しいと思われる目標を達成したすごさなどを中心に児童には感じ取らせる。

児童が学校生活の中で文学作品、絵画や造形作品などの美術、壮大な音楽などに触れて感動するという経験は、あまりない。今回のような教材を通して、人間の力では説明することができない美への感動や、崇高なものに対する尊敬や畏敬の念をもち、人間の力をこえたものや素晴らしさを感じていけるようにする。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

今までの道徳の学習を通して、児童は様々な内容項目について意欲的に発言し、ノートなどにも自分の考えをまとめている。(略)

そのDの内容項目の中でも捉えにくい「感動・畏敬の念」を扱うため、児童には実感を伴わせながら授業を行う。そのため、事前に岩を砕く体験をさせたり、授業の中では「青の洞門」の実際の写真を提示したりすることで、そこから「了海」の達成したことの難しさを考えられるようにする。

「感動・畏敬の念」に関わる児童に事前にとったアンケートでは以下のような結果となった。

①あなたは今までに感動したことはありますか。

はい (〇人)・いいえ (〇人)

②あなたは今までにすごいと思った人はいますか。

はい (〇人)・いいえ (〇人)

③あなたは今までに美しいもの(風景・作品・人の生き方など)を見て、感動したことはありますか。

はい (〇人)・いいえ (〇人)

質問内容に関わる具体的な内容としては以下の通りである。

- ①で「はい」と答えた人は、どんなことに感動しましたか。
- ・映画 ・音楽や曲の歌詞 ・風景（海のきれいさ、流れ星） ・テレビ（体の不自由な人の頑張りを見た）
- ②で「はい」と答えた人は誰（何）をすごいと思いましたか。
- ・家族 ・スポーツ選手（サッカー、野球） ・歴史上の偉人
- ③で「はい」と答えた人はどんなことに感動しましたか。
- ・映画 ・風景（海、山、紅葉、月、太陽） ・縄文杉 ・魚の群れの動き ・人の生き方

児童にとって「感動」する対象は身近なものが多い。このアンケート結果も授業の中で提示しながら、その内容に触れ、指導を行っていく。そして「人間の力を超えたもの」を教材を通して学習していくことで、今まで抱いていた「感動」に対する捉えを深めていく。

（3）教材の特質や活用方法について

本教材は、前に大きな罪を犯した了海が登場する。了海はその罪を償うために何かできないかと考えていた。そんな時、川に転落し何人もの命を奪った「くさりわたし」を前にして、村人たちのために岩をくり抜いて道を作ろうと了海は、決心したのであった。しかし、その岩を砕くことは無理であろうと村人たちは誰も協力してくれなかった。それでも了海は諦めることなく、一人で掘り続けた。その了海の直向きさに少しずつ村人も心を動かされ協力し始める人たちも出てきた。

了海が掘り始めて十八年目の時、昔了海に父親を殺された実之助が現れる。実之助は父親の仇をとろうと刀を持ち、待ち構えていたが、了海の哀れな姿や、ここまで続けてきた偉業を目の当たりにして、この道が完成するまで、待つてやろうと決心するのであった。

二人で岩を掘り続けて一年と六か月が過ぎた時、とうとう掘り続けた穴が完成する。二人は完成した喜びを共有し、手を取り合い、感動し合うという物語である。

この教材を通して、実之助の心情を中心に児童には以下のことについて話し合わせる。

- ①長年探し続けてきた、了海を見つけた時
- ②仇を取ろうとしていたが、刀を置いた時
- ③了海に「お切りなされ」と言われた時

中でも、③を中心として児童に話し合わせ、仇を取ろうとしていた気持ちがなぜ変わったのかということについて様々な意見を出させる。様々な意見を出させ、実之助の心を変えたものは何なのかを考えることで、今回のねらいにもある「感動・畏敬の念」を感じ取らせることができると考える。

4 学習指導過程

段階	学習活動 ○主な発問 ・補助発問	予想される児童の発言	・指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 青の洞門の写真を提示したり、実際の石を砕いたりした様子を想起する。 （アンケートの内容についても授業に関することについては、提示する。） ・青の洞門を見たり、実際に石を砕いたりしたことを思い出してどのような感想をもちましたか。	・実際に見たことがなかったのでこんなに大きいとは思わなかった。 ・石を砕くのはとても時間がかかると思った。 ・よく一人でやったと思った。	・実際の青の洞門を見たり、石を砕いたりしたことを思い出すことで、了海が行ったことのすごさに気付く。
展開	2 教材名とテーマを確認し、授業の流れを確認する。（児童の考えを配布する。）		・本時のねらいとする価値に関することについて

	テーマ（感動・畏敬の念） 人の心を動かすものはあるのだろうか。 3 条件・状況や学習問題を確認する。 〈登場人物〉 ・実之助 ・了海 ・村の人 〈条件・状況〉 ・了海は前に罪を犯し、それを償うために何かできないか考えていた。 ・岩を掘り、道を作れば人々を救えると思った。 ・一年掘り続けて、三メートルととても大変だった。 ・了海は実之助の父を殺した過去がある。 4 話し合う場面を中心に範読を行う。 学習問題 了海に「お切りなされ」と言われた時、実之助は何を考えただろう。 5 実之助の心情を中心に話し合いを行う。 ①長年探してきた了海を見つけた時実之助は何をを考えていただろう。 ・仇をとりに来た実之助のことをどう思うか。 ②了海の姿を見て、刀を置いたとき実之助は何を考えたのだろう。 ・実之助の判断は正しかっただろうか。 ③了海に「お切りなされ」と言われた時、実之助は何を考えたのだろう。 ・ようやく、見つけられた。 ・父親のために仇をとってやる。 ・親を殺されてかわいそう。 ・20年間も探すくらい、どうしても仇をとりたかったと思う。 ・完成するまで待つてやろうと思った。 ・仇をとる気がなくなった。 ・了海のしていることのすごさや偉大さを感じた。 【実之助の判断は正しい】 ・十分罪を償ったと思うから。 ・罪のために人生を削った了海に罪はもうないと思えた。 ・了海はまだ罪が無くなったとは思っていないから。 【実之助の判断は正しくない】 ・過去は変えられない。 ・悲しみや憎しみが強い。 ・家族のために仇をとりたい。 ・了海は罪を償ったから、仇をとることはやめよう。 ・自分は仇をとることばかり考えていた	事前に提示し、範読を聞けるようにする。 ・範読で読まない部分については説明しながら確認する。 ・テーマを意識しながら範読を聞くようにする。 ・実之助が父親の仇をとろうと長い時間抱いていた思いに気付かせる。 ・仇をとろうとしていたが、なぜ一度やめたのかを児童と共に整理する。 ・補助的に、実之助の判断は正しかったのかと発問し、児童に理由を述べさせる。テーマにもある実之助の思いがなぜ変わったのかについて考えをつなげられるようにする。 ・最初の発問で聞いた心情から、変化した心情の理由を問いなが
--	---	--

	・実之助はなぜ、了海を切れなかったのだろう。 ・テーマにある何が心を動かしたのかについて考える。	が、了海の様子を見ていたら仇をとることをやめようと思った。 ・仇をとろうとする気持ちはなくなった。 ・人のために洞門を作ったから。 ・罪を償ったと思ったから。 ・了海をすごいと思う気持ち。 ・了海を尊敬する気持ち。 ・了解の諦めない姿。 ・自分には出来ないことだと思う気持ち。 ・了海が自分の人生を捧げてまで行った偉業が人間での力で成し遂げることの難しさを感じた。 ・了海の成し遂げたことへの驚きと感激の心。	ら、考えが変わった理由を、テーマと絡めて児童に投げかける。 ・補助発問として扱い、具体的に何が心を動かしたのかを聞く。
	6 本時の学習に関わる感想をまとめる。	・始めは、仇をとろうと思っていた実之助の気持ちを了海が、変えたのはすごいと思う。 ・成し遂げたことの難しさに感動するということが分かりました。 ・あまり意識していなかったけど、人の行動に感動することもあるのだということが分かった。	・学習する前とした後の変化が分かるようにノートにまとめさせる。 ☆「畏敬の念」という観点を持ち、話し合うことができたか。
終末	7 教師の説話を聞く。		・テーマに関する理解を深められるようにする。

〈各教科・行事を通して〉 ○社会 伊能忠敬や杉田玄白の偉業に触れる。 ○理科 月や太陽の学習を通して、宇宙の神秘を感じ取る。 ○修学旅行 日光の雄大な景色や自然の美しさ、偉大さを感じる。	〈道徳の時間〉 (9月) 教材名『命を見つめて』 D 生命尊重 (11月) 教材名『稲村の火』 D 感動・畏敬の念 (11月) 教材名『青の洞門』〈本時〉 D 感動・畏敬の念 (2月) 教材名『ラッシュアワーの惨劇』 D 生命尊重	〈家庭・地域との連携〉 ○毎月19日の(徳の日)に、学校で記入した「私たちの道徳」を家庭に持ち帰り、学校での道徳の学習を保護者に知らせる。 ○学級通信において、道徳の学習での児童の感想を載せていく。
--	--	--

- ・「畏敬の念」という観点をもち、人間の力を越えたものについて多面的・多角的に話し合うことができたか。
- ・実之助の心の変容を自分ごととして考えることができたか。

教材名 青の洞門

実え助 了海

了海は前に罪を犯し科を償うため何かできないか考えていた。

岩を利道を作れば人々を救えると思った。1年は続けるメートルと大変だった。

了海は実え助の父を殺した過去がある。

テーマ 実え助の心を変えたものは何だろうか。

了海を見つけた時
よやく見つけられた。
父親のために仇をと、やる。
親を殺されてかわいそう。
20年間もさびていたなんて。

なせかを置いたか
完成するまで待つ、やろう。
仇討ちが気がなくなってきた。
了海がいることのすごさを感じた。

学習問題 了海におこりなせれと言われた時
実え助は何を考えてたろう。

- 仇を討つとはやりぬう。自分にはそれはない。
- 仇を討つとはおりに来た。僧しかあるがそれはない。
- 仇を討つ気持ちがないなら。こまめに通したほうがいいから...

↓

心を変えたもの

- 了海をすべしと思う気持ち → 多くの命を救った思い
- 了海を尊敬できる気持ち → 人の心に立ちたいと思ふ
- 自分にはできないという気持ち → 了海の偉業のあじき

〈登場人物〉 ・実之助 ・了海 ・村の人

〈条件・状況〉

- ・了海は前に罪を犯し、それを償うために何かできないか考えていた。
- ・岩を掘り、道を作れば人々を救えると思った。
- ・一年掘り続けて、三メートルととても大変だった。
- ・了海は実之助の父を殺した過去がある。

- ・なぜ実之助は了海を切るのをやめたのだろう。
- ・成し遂げた後、「お切りなされ。」と言ったのは優しい。
- ・どうして仇を取らずに我慢できたのだろう。
- ・なぜ「喜びの中で死ねたらと言ったのだろう。」
- ・実之助の気持ちについて話し合いたい。

テーマ 人の心を動かすものはあるのだろうか。



- ・20年も国々を回り続けたのはすごい。
- ・昔は昔、今は今として接しているので優しい。
- ・親を殺されたけど、一緒に頑張った。
- ・一緒になって岩を掘ってあげるのはすごい。
- ・一緒に掘るのは優しい。
- ・仇をとりに来たのに手伝ったのはよい。
- ・どうして手伝ったのだろう。
- ・最後はいい人になった。
- ・なぜ仇を討たないのだろう。
- ・なぜ手伝ったのだろう。
- ・一緒に1年6カ月も掘ったのはすごい。

〈学習問題〉 了海に「お切りなされ」と言われた時、実之助は何を考えただろう。

仇とり

「お切りなされ」



- ・了海はなぜ実之助の父を殺してしまったか。
- ・二人が最後仲良くなったこと。
- ・洞窟が完成した時の二人の気持ち。
- ・なぜ許したのだろう。
- ・なぜ村の人たちは反対したのだろう。

- ・生きた状態（何十年も）で続けたのはすごい。
- ・昔は大きな罪を犯したけどみんなのために何かすることは素敵だと思った。
- ・人の命を救うために洞窟を掘ったのはすごい。
- ・罪を犯したから岩を削ったのはすごい。
- ・21年間も掘り続けていてすごい。
- ・最後まで諦めずに掘り続けてすごい。
- ・罪を償おうとした。
- ・なぜ、掘ろうとしたのだろう。

D 感動・畏敬の念

第1学年及び第2学年

美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。

第3学年及び第4学年

美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。

第5学年及び第6学年

美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を
超えたものに対する畏敬の念をもつこと。

中学校

美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の
力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。

D 感動・畏敬の念

第1学年及び第2学年

自然の美しさや心地よい音楽、芸術作品などに触れて気持ちよ
さを感じたり、物語などに語られている美しいものや清らかな
ものに素直に感動したりするような体験を通してすがすがしい
心をもてるようにする。

第3学年及び第4学年

自然の美しさや人の心の気高さなどを感じ取る心をもっている
自分に気付き、その心を大切にし、更に深めていこうとする気
持ちは高めるようにする。

第5学年及び第6学年

文学作品、絵画や造形作品などの美術、壮大な音楽など美しい
ものとの関わりを通して、感動したり尊敬や畏敬の念を深めたり
することで、人間としての在り方をより深いところから見つ
め直すことができるようにする。

了海の姿を見た実之助

- ・なぜ洞門を掘っているのだろう。
- ・完成するまで待てやろう。
- ・一緒に完成させてその後、仇を討とう。
- ・仇をとる気がなくなった。
- ・了海のしていることのすごさを感じた。

長年探してきた了海を見つけた実之助

- ・ようやく、見つけられた。
- ・父親のために仇をとる。
- ・絶対に仇をとる。



了海の思い

- ・今まで犯した罪滅ぼしのた
め、やり遂げたい。
- ・完成まで待ってほしい。
- ・喜びの中で死ねたなら。

〈学習問題〉 了海に「お切りなされ」と言われた時、実之助は何を考えただろう。

〈テーマ〉 人の心を動かすものはあるのだろうか。

実之助はなぜ切れなかったのだろう。

- ・了海は罪を償ったから、仇をとることはやめよ
うと思った。
- ・自分は仇をとることばかり考えていた。
- ・了海の様子を見ていたら仇をとることをやめよ
うと思った。
- ・仇をとろうとする気持ちはなくなった。

実之助の心を動かしたもの

- ・了海をすごいと思う気持ち。
- ・了海を尊敬する気持ち。
- ・自分には出来ないことだと思う気持ち。
- ・自分の人生を捧げてまで行った偉業の難しさ。

